

A01-02-02
A
令和2年1月末日廃棄

各部長、各所属長 殿

公室第166号

令和元年12月5日

総務部長

公安委員会定例会議（全体会議）結果（事務連絡）

会議名	公安委員会定例会議（全体会議）
開催日	令和元年11月14日 木曜日
時間	午前10時から午前10時50分までの間
場所	公安委員会室
出席者	渡部委員長、平林委員、長谷委員、森委員、森田委員 ----- 警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、 交通部長、警備部長、京都市警察部長、情報通信部長 《書記 公安委員会補佐室長 同室室長補佐》

1 委員報告

(1) みんなの力で暴力・違法銃器追放京都府民大会（11月7日）

（森委員）大会では、警察が暴力追放運動推進センターと連携して、適切に未指定暴力団の組事務所の使用制限を行ったことの報告がありました。

(2) 音楽隊第30回定期演奏会（11月10日）

（森田委員）音楽隊とカラーガード隊の創設の歴史を学びつつ、楽しいひとときを過ごさせていただきました。

(3) 全国公安委員会連絡会議総会（11月11日）

（渡部委員長）会議では、「サイバー空間の安全の確保」というテーマで、サイバー空間をめぐる情勢や今後の課題等について講演があり、国民生活や社会経済活動に重大な被害が生じる虞のあるサイバーテロに対し、世界全体で取り組むべき課題と強く感じました。

（平林委員）「公正な職務執行と人権」というテーマの分科会に出席しました。私からは「京都では、公安委員が、警察学校や警察署に出向いて講話等を行い、警察官の意識改革、人権意識の醸成を図っていること」を申し上げてきました。

（森委員）「犯罪の防止等につながる各種機能の効果的連携」というテーマの分科会に出席しました。私からは「児童虐待の防止のためには、児童相談所や教育委員会との連携、現場で対応する職員が、ロールプレイング等で意識を高めて対応していくことが重要である」と申し上げてきました。

(森田委員)「サイバー空間の安全の確保」というテーマの分科会に出席しました。各都道府県からは、サイバー犯罪の被害防止と捜査能力の向上という観点から様々な意見が述べられていました。

(4) 京都府警察殉職者慰霊祭 (11月13日)

(平林委員) 雲一つ無い秋晴れの下、森委員、森田委員の3人で出席し、京都からは、殉職者をこれ以上出さないという強い決意を慰霊祭の中で感じました。

## 2 報告事項

(1) 府下警察署長会議について

《総務部》

総務部長から、来年の活動重点の基本方針を示した「京都平安策2020(仮称)」推進重点に係る考え方やその背景事情を共有し、当面の活動重点やその諸対策について意思統一を図る目的で、12月19日、府下警察署長会議を開催することについて報告が行われた。

(2) 民間企業との連携による道路交通法改正に伴う広報啓発活動の実施について

《交通部》

交通部長から、いわゆる「ながら運転」の罰則を強化する改正道路交通法が12月1日に施行されることに伴い、法改正の趣旨を広く府民に周知徹底するとともに、社会全体で「ながら運転」禁止の気運を盛り上げ交通事故防止に資する目的で、府内の民間企業・団体との連携による広報啓発活動を11月20日から開始する旨の報告が行われた。

(3) 宮城県・長野県下における広域緊急援助隊・広域警察航空隊の活動について

《警備部》

警備部長から、台風第19号の災害に伴い宮城県警に特別派遣されていた広域緊急援助隊及び長野県警に特別派遣されていた広域警察航空隊の活動状況について報告が行われた。

## 2 警察本部長報告

警察本部長から、

- 警察署長会議において、不祥事案の再発防止策等について討議検討する旨の報告が行われた。

担当 企画調整係